

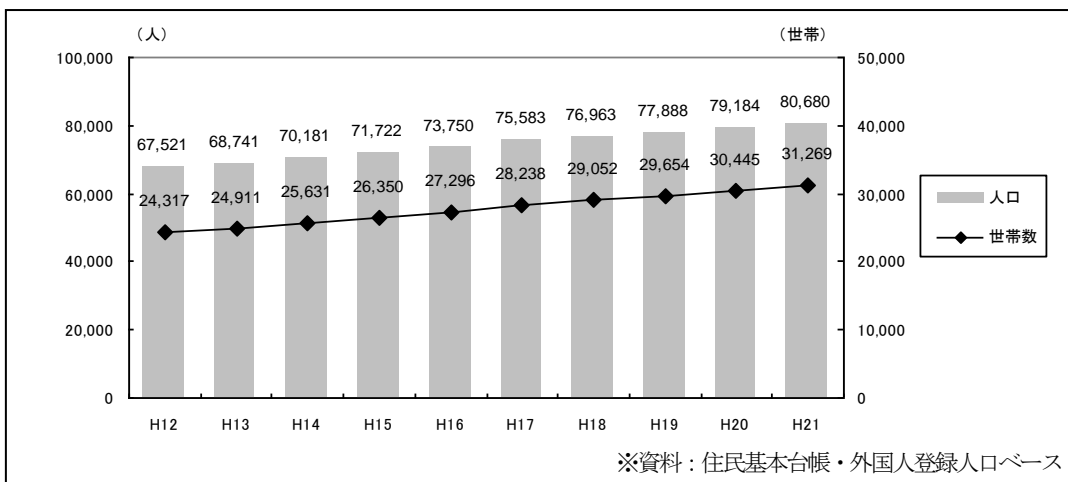
第2章 日進市の概要

2-1 日進市の人口及び高齢者・障害のある人の状況

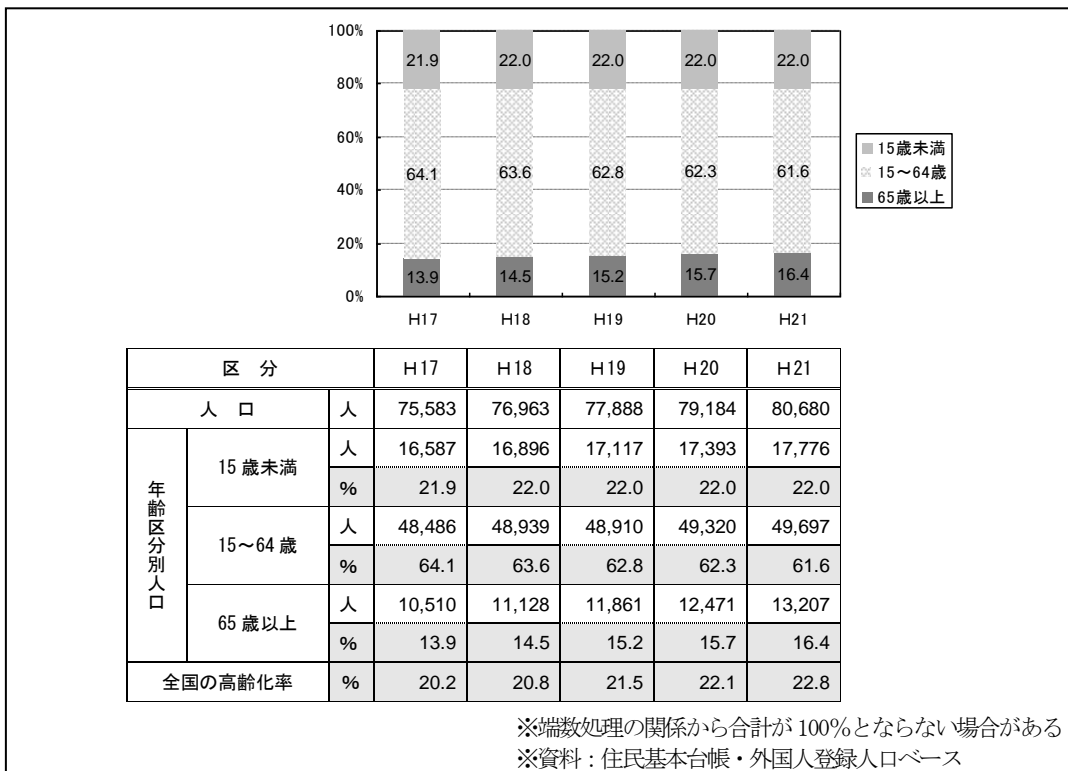
(1) 人口及び高齢者の状況

我が国の人口は、少子化の影響により減少傾向にありますが、本市は15歳以下の年少人口が増加傾向にあるとともに、総人口も堅調に推移し、平成21年4月には80,680人に達しました。約20年前の平成元年の人口(46,751人)と比較すると、1.7倍に増加しています。

また、高齢者の状況として65歳以上の人口割合(高齢化率)をみると、全国平均を下回っていますが、増加傾向にあります。



■総人口及び世帯数の推移



■年齢3区分別人口の割合の推移

(2) 障害のある人の状況

①障害者手帳所持者数の推移

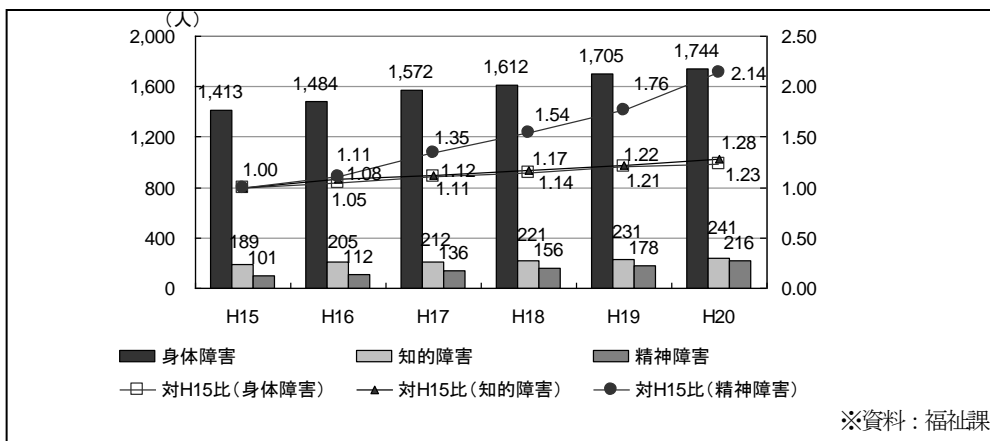
各障害者手帳所持者数は増加傾向にあり、平成15年度から平成20年度までに、全体で約1.3倍に増加しています。

特に、精神障害者保健福祉手帳の所持者数が大幅に増加しています。

■障害者手帳所持者数

	H15	H16	H17	H18	H19	H20
身体障害	1,413	1,484	1,572	1,612	1,705	1,744
知的障害	189	205	212	221	231	241
精神障害	101	112	136	156	178	216
合計	1,703	1,801	1,920	1,989	2,114	2,201

※資料：福祉課



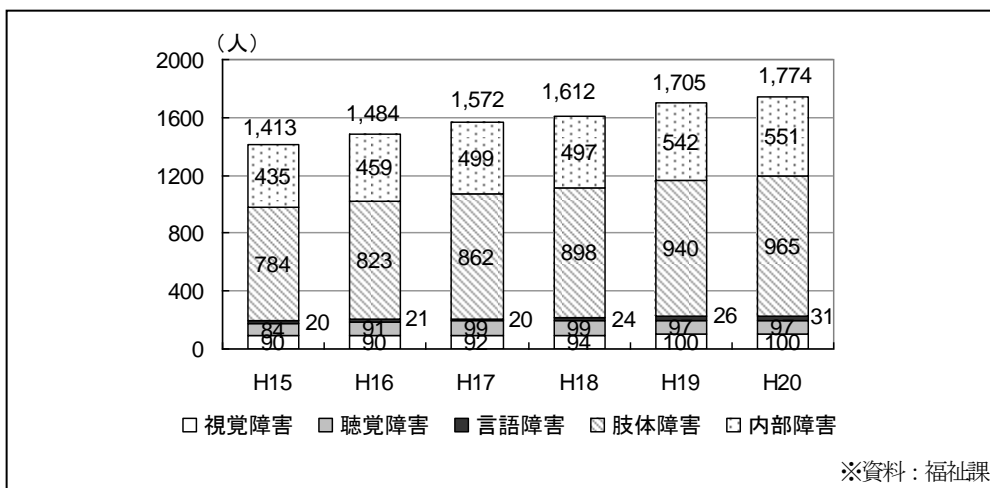
※資料：福祉課

■障害者手帳所持者数の推移

②身体障害者手帳所持者数の推移

1) 障害の種別

身体障害者手帳所持者の種別をみると、最も多いのは「肢体不自由」で、平成20年には身体障害者手帳所持者の半数以上を占めています。次いで「内部障害」が多く、身体障害者手帳所持者の約3分の1を占めています。

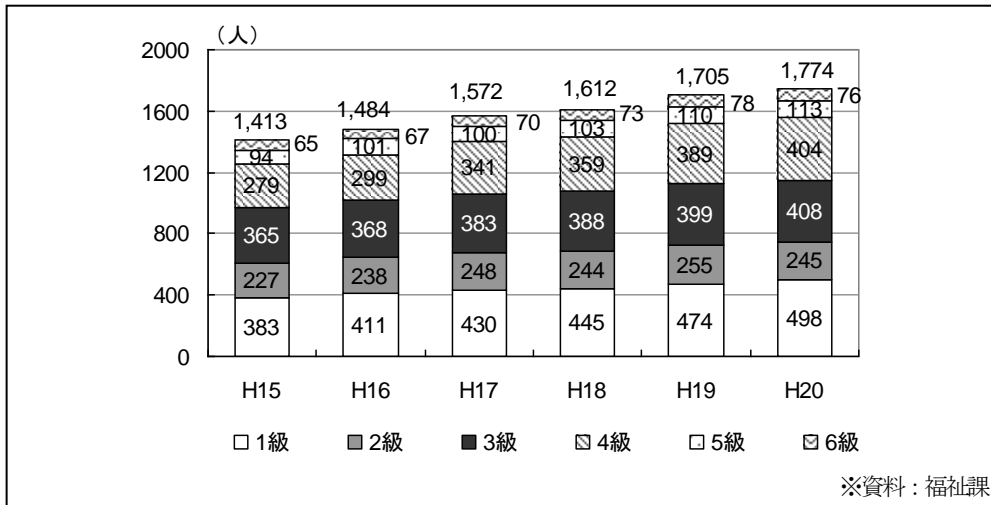


※資料：福祉課

■身体障害者手帳所持者数の推移 (障害種別)

2) 障害の等級

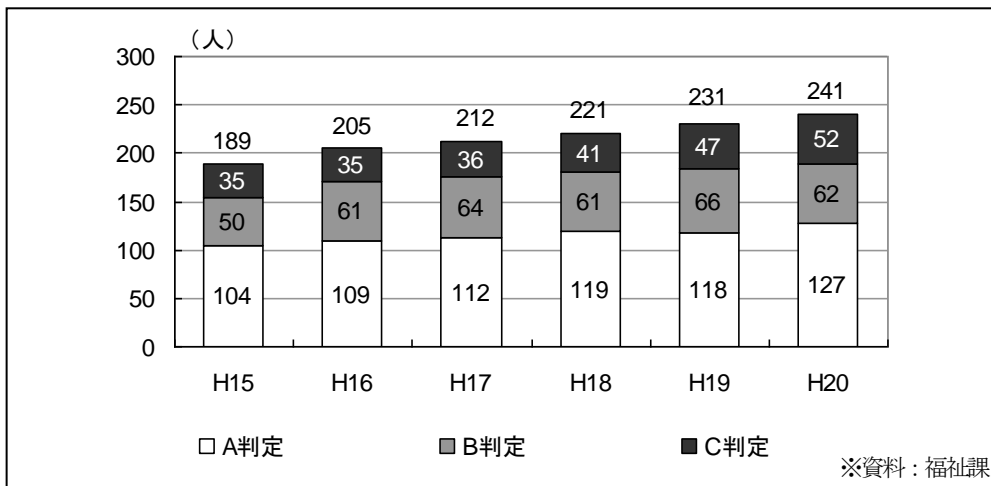
身体障害者手帳所持者の等級をみると、最も多いのは「1級」で、次いで「3級」が多く、比較的重度の人が多くなっています。



■身体障害者手帳所持者数の推移（等級別）

③療育手帳所持者数の推移

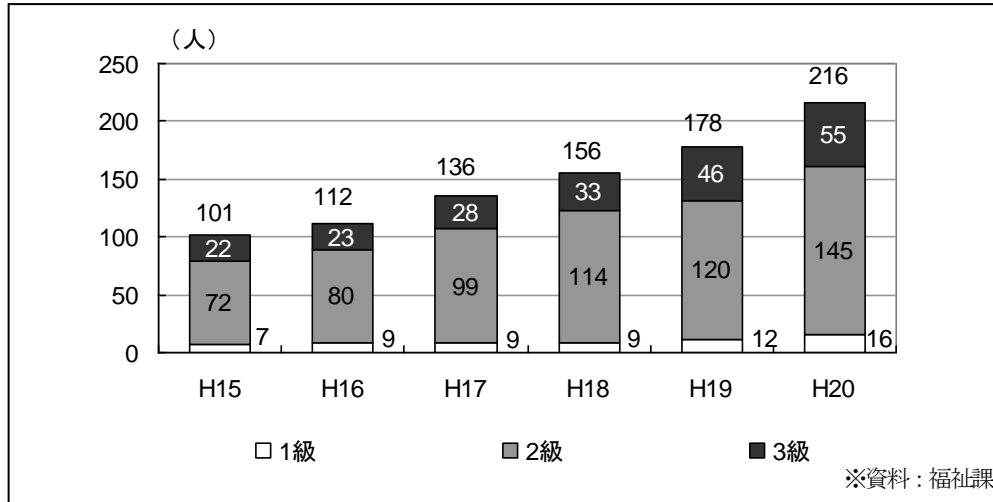
療育手帳所持者の判定をみると、最も多いのは「A判定」で、平成20年には療育手帳所持者の半数以上を占めています。次いで、「B判定」が多くなっており、重度・中度の人が多くなっています。



■療育手帳所持者数の推移（判定別）

④精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

精神障害者保健福祉手帳所持者の等級をみると、最も多いのは中度の「2級」で、全体の約7割を占めています。



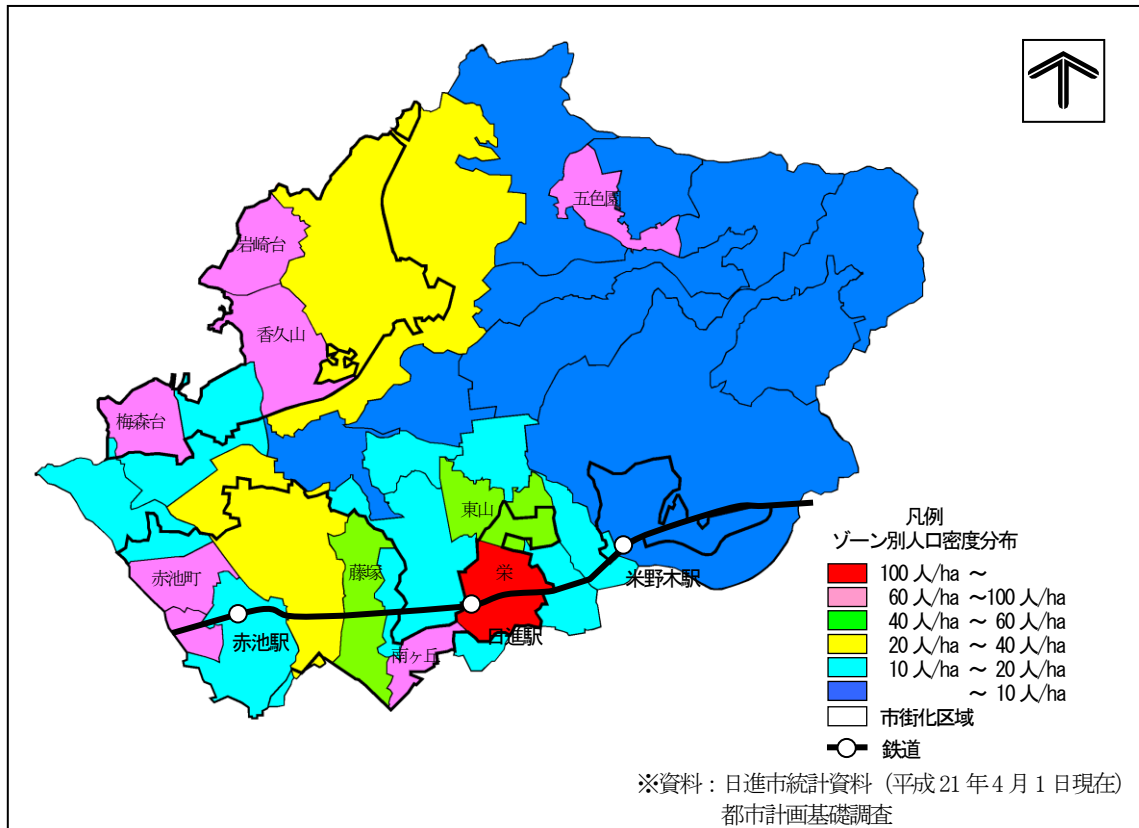
■精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移（等級別）

2-2 地域別の人口の状況

(1) 地域別の人口分布

本市の北西部の梅森台・香久山・岩崎台地区や、南西部の赤池町・藤塚・栄地区の住宅地において人口密度が高くなっています。また、昭和40年から50年代に造成された東山・五色園・南ヶ丘地区も高くなっています。

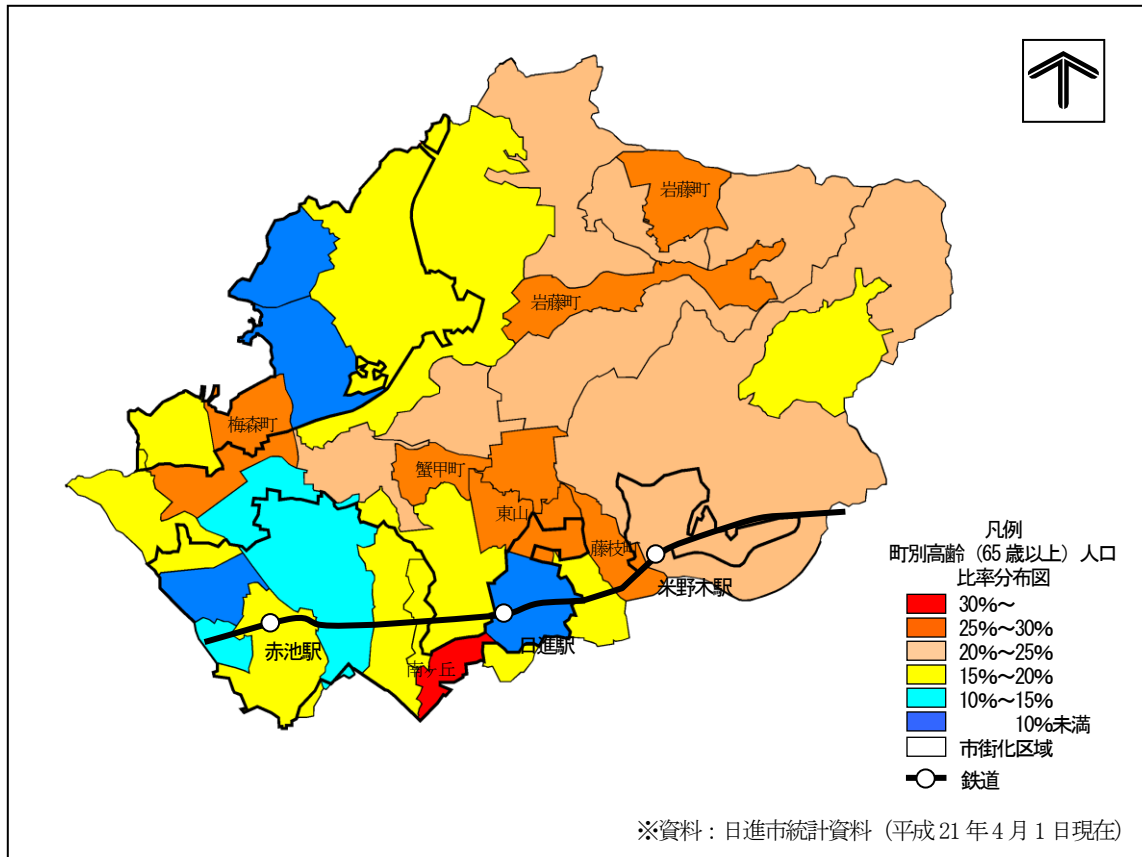
なお、米野木駅の北側は、現在は人口密度が低い状態ですが、土地区画整理事業が進められていることから、大幅な人口増加が見込まれます。



■地域別人口分布図

(2) 地域別の高齢化の状況

本市の高齢化率は、本市の中央部から東部にかけて広がる、市街化調整区域内にある旧集落で高くなっています。特に、梅森町・蟹甲町・藤枝町・岩藤町で、25%を超えている状況にあります。また、市街化区域内では昭和40年代に住宅開発された南ヶ丘・東山地区において高齢化率が高くなっています。



■地域別高齢者人口比率分布図

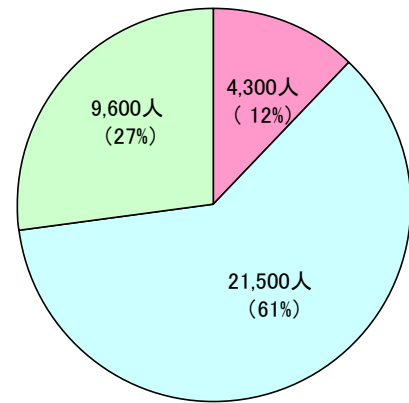
2-3 公共交通機関の状況

(1) 鉄道

①利用状況

平成20年度の1日平均乗降客数は、赤池駅がもっとも多く約21,500人、次いで日進駅が約9,600人となっています。

米野木駅の乗降客数は約4,300人で、全体の約12%を占めています。



■ 米野木駅 □ 赤池駅 □ 日進駅

■1日平均乗降客数（平成20年度）

資料：名古屋鉄道

②バリアフリーの状況

本市内の鉄道駅におけるバリアフリー関連設備の設置状況を整理すると、下表のとおりとなります。米野木駅において自動の昇降施設やバリアフリー対応のトイレが設置されていない状況にあります。

■鉄道駅におけるバリアフリー関連設備の設置状況（名鉄豊田線）

バリアフリー関連設備		米野木駅	日進駅	赤池駅
昇降施設	自動	車いす対応エレベータ	—	○
		エスカレータ	—	—
	手動	車いす対応スロープ	—	—
		車いす対応チェアメイト	○	—
トイレ	車いす対応トイレ		—	○
	トイレ		○	○
	オストメイト対応トイレ		—	○
	ベビーシート対応トイレ		—	○
その他	誘導ブロック		○	○
	点字運賃表		—	○
	点字券売機		○	○
	駅員無配置駅		○	—

※赤池駅には名古屋市交通局の職員が配置されている。

資料：名古屋鉄道

(2) バス

本市内のバス路線は、名鉄バスと本市内巡回バス「くるりんばす」から構成されています。「くるりんばす」は、日進市役所を起点として、全てのルートが鉄道駅（東部丘陵線・名鉄豊田線）と連絡しています（路線図については、次ページを参照）。

米野木駅を経由するバス路線は、名鉄バス1路線と、「くるりんばす」2路線が運行しています。（「くるりんばす」の全8路線の内、東コースと東南コースが該当）

名鉄バスは、名古屋商科大学と米野木駅を起点とし、光陵女子短期大学・愛知県立日進高等学校・中部大学第一高等学校を経由する路線であるため、各学校の生徒等が利用することから、市内の路線バスにおいても乗降客数が多い路線となっています。

「くるりんばす」2路線（東コース、東南コース）の利用者数は、平成20年度において143,470人となっており、1日平均で400人が利用しています。平成19年度からの利用者の増加率は約15%となっており、米野木駅を経由しないその他の路線に比べ、利用者の伸びが大きくなっています。

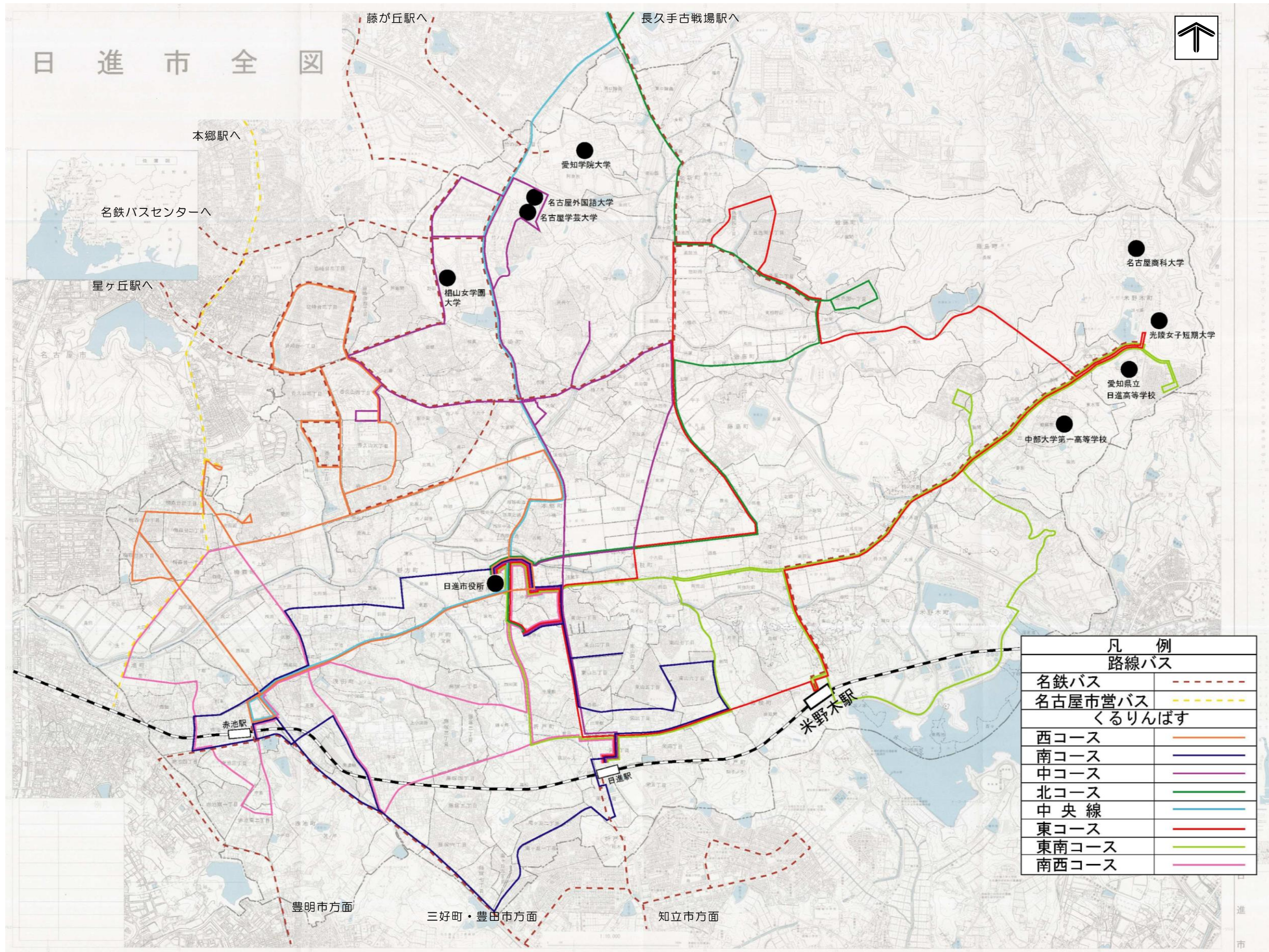
■くるりんばすの利用者数の状況

		年間利用者数（人）			1日利用者数（人）		
		H19	H20	増加率	H19	H20	増加率
米野木 駅経由	東コース	67,276	78,003	15.9%	186.9	217.3	16.3%
	東南コース	57,807	65,467	13.3%	160.6	182.4	13.6%
	小計	125,083	143,470	14.7%	347.5	399.7	15.0%
その他コース		327,607	355,861	8.6%	910	991	8.9%
全コース		452,690	499,331	10.3%	1,257.5	1,390.9	10.6%

※1日利用者数は、年間利用者数を運行日数で割った数値とする。

※運行日数は、H19を360日、H20を359日とする。

日進市全図



凡 例	
路線バス	
名鉄バス	-----
名古屋市営バス	-----
くるりんばす	
西コース	-----
南コース	-----
中コース	-----
北コース	-----
中央線	-----
東コース	-----
東南コース	-----
南西コース	-----

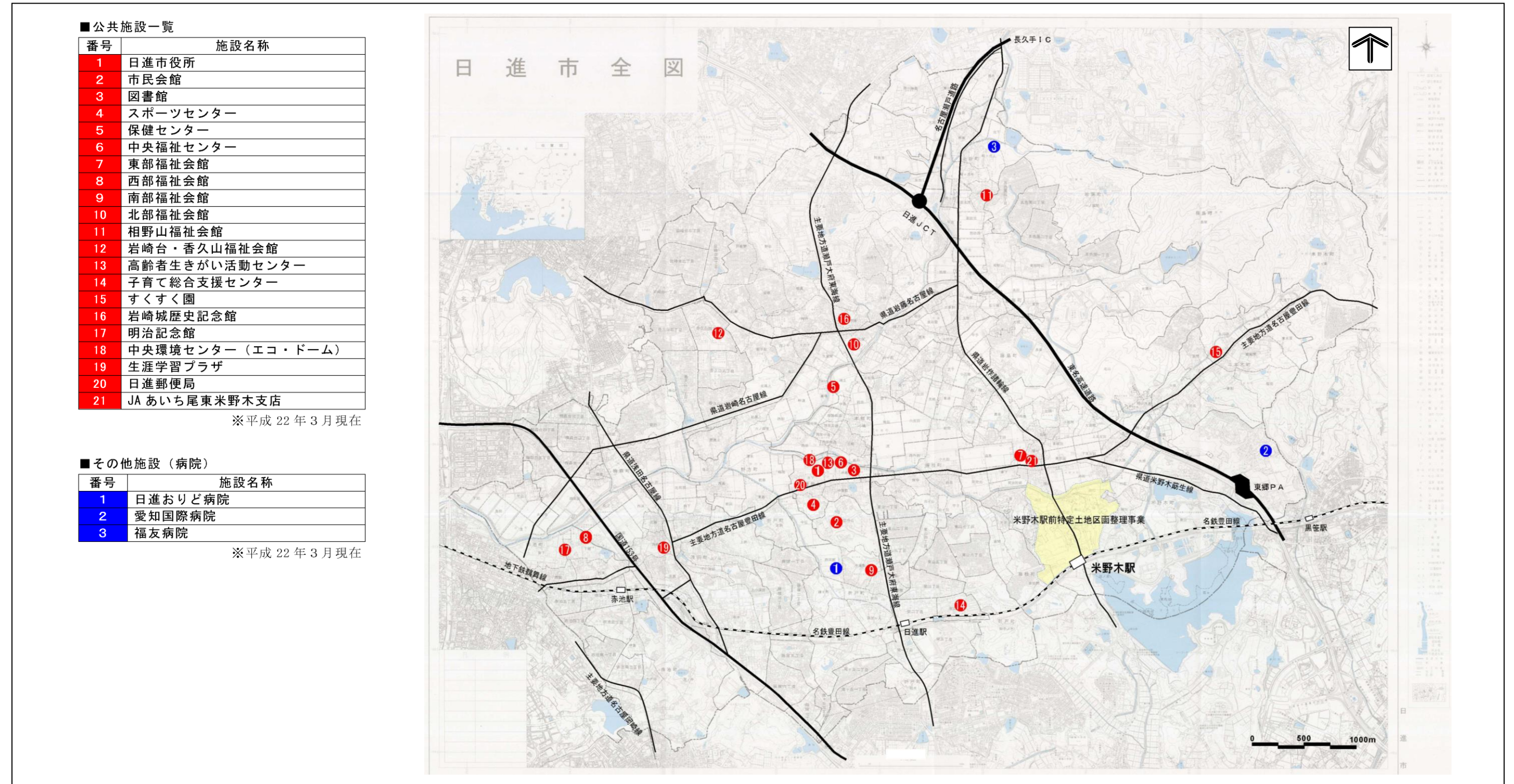
■市内バス路線図

2-4 各種施設の分布状況

本市は、市民会館、図書館、スポーツセンター、中央福祉センター、中央環境センター（エコ・ドーム）、郵便局といった利用者の多い公共公益施設が市役所周辺に点在しています。また、福祉会館は、市内の6か所に分散して設置されています。

その他、大規模小売店舗が、栄地区、岩崎町竹ノ山地区・香久山地区に点在しています。現在整備中の米野木駅前にも立地する予定です。

米野木駅周辺は、土地区画整理事業が施行中のため、現在は公共公益施設は立地していませんが、市街地整備の進捗にあわせ、立地することが予想されます。



■ 日進市内の主要施設位置図

2-5 上位計画・関連事業

(1) 上位計画

当基本構想の策定に向け、本市においてバリアフリーに関連する事業を展開していく上で、関連する項目を以下に整理します。

第4次日進市総合計画（西暦2001年～西暦2010年）

基本構想

将来像	ひと・みどり・ふれあいがつくる高環境生活都市
まちづくりのテーマ	<ul style="list-style-type: none"> ○市民主体の交流まちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・人と人との交流づくり（出会い・ふれあい・支え合い） ・人と学園・企業との交流づくり（学園・企業交流） ・人と自然との交流づくり（水と緑との交流） ○市民主体の生涯支援まちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・人にやさしいまちづくり（福祉のまち） ・いきがいのあるまちづくり（生涯現役支援） ・あんしんのまちづくり（子育て支援） ○市民主体の環境まちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・みどりあふれるまちづくり（みどりづくり支援） ・地球にやさしいまちづくり（資源循環型・省エネ社会の構築） ・安全なまちづくり（生活環境保全）
まちづくりの実現に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ○市民と行政のパートナーシップの育成 ○行財政運営の効率化 ○他の行政機関との連携

基本計画

分野	項目
地域福祉	高齢者・障害者等の地域活動参加機会の提供
障害者福祉	障害者が積極的に社会参加できる体制づくり
人にやさしいまちづくり	ノーマライゼーションの実現施策として、誰もが移動しやすい交通環境の提供、誘導ブロックの設置、公共施設をはじめとする各種施設のバリアフリー化等を推進する
交通体系	公共交通の利用促進のため、鉄道3駅へのエレベーター等の整備

日進市都市マスタープラン（案） （平成 22 年度～平成 32 年度）

全体構想

都市づくりの理念	農地や緑地をはじめとする豊かな自然を守り・育みつつ、「ベッドタウン」から多様な世代が暮らし続けることのできる「生活環境が豊かに充実した都市」へと再構築を進める
都市づくりの基本目標	<ul style="list-style-type: none"> ○農業振興・緑地保全と調和した集約的・効率的な土地利用の実現 ○“にぎわい”と“ふれあい”を生み出す新たな「都市拠点」の形成 ○本市ならではの資源・既存ストックを活かした都市づくり ○誰もが安心・安全・快適に生活し、移動できる都市環境の創出 ○互いの役割と責任に基づいた市民・行政による協働の都市づくり
将来都市構造（土地利用と都市軸）	<ul style="list-style-type: none"> ○土地利用ゾーンの配置 <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活拠点 鉄道 3 駅周辺や土地区画整理事業等により計画的に整備された地区内のセンター地区においては、周辺に立地する中高層住宅と一体となってコンパクトにまとまった生活圏の構築を図るため、最寄り商業施設等をはじめ日常的な生活利便施設等が集積した拠点地区の形成を図る。 ○都市軸<都市交通軸> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路 (都)日進中央線（東延伸路線含む）、(都)名古屋豊田線、(県)岩作諸輪線をはじめ、主要幹線道路を補完するとともに、市内に分散立地する市街地や集落地相互の交通流動を円滑に処理することを目的とした幹線道路を適正に配置する。 ・公共交通軸 市域南部を東西に貫く名古屋市営地下鉄鶴舞線・名鉄豊田線を本市の公共交通軸として位置づけるとともに、鉄道 3 駅についても、公共交通結節点として位置づける。
都市づくりに関する方針（都市交通施設に関する方針）	<ul style="list-style-type: none"> ○幹線道路等 <ul style="list-style-type: none"> ・現行都市計画道路や現在の国・県道等の整備・改善を図り、さらに道路ネットワークを構成するために必要な補助幹線道路などの整備に努める。 ○鉄道・バス <ul style="list-style-type: none"> ・市内外の交通環境の変化に対応した公共交通網の整備・改善を進める。 ・「くるりんばす」については、持続可能なシステムとして、現在のサービス水準の維持に向け、利用者増に資するバス停付近におけるバリアフリー化やソフト施策等の充実を図る。 ・米野木駅については、現在施行中である土地区画整理事業の進捗に合わせながら、バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した駅前広場やアクセス等の整備を進めるとともに、駅利用者の利便性向上に資するパーク＆ライドの啓発や駐輪場の利用促進を図る。 ○公園・緑地等 <ul style="list-style-type: none"> ・現在未整備となっている地区について都市計画公園等の整備を推進するとともに、緑の基本計画の検討・策定を通じ、公園・緑地の目標整備量及び配置等の方針を策定し、これに基づく整備を推進する。

日進市地域福祉計画（平成 17 年度～平成 26 年度）

まちの将来像	<p>できることからはじめます！ 思いやり・助け合い、にっしん幸せまちづくり</p>
基本理念	<p>○市民一人ひとりが、地域福祉を担う主役となる ○お互いを認め合い、「共に生きる」まちを築く ○地域での自立を支援する ○無理なく楽しく行動し、持続する</p>
重視すべき視点	<p>○市民と行政の協働 ○地域に根ざし顔の見える福祉サービスの実施 ○福祉サービスの総合化 ○生活関連分野との連携</p>
基本目標と 施策の体系	<p>目標 1：地域福祉活動の輪をひろげます！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集い・憩い・語る街の居場所づくり ・身近な助け合い活動の実践 ・防災・防犯と福祉を一体化した地域活動の推進 ・地域での学び・遊びの場・機会づくり ・「役立ち感」が実感できる仕事や社会参加の機会づくり <p>目標 2：地域福祉の活動をささえます！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉教育の推進 ・地域福祉の推進主体となる地域自治組織への支援 ・人材育成・人材派遣 ・活動拠点確保への支援 ・地域福祉活動への資金的支援 <p>目標 3：地域福祉の活動をつなぎ、大きな力に育てます！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉を支える規範整備 ・バリアフリーの基盤づくり ・気楽に相談できる相談窓口の設置 ・地域福祉サービスの総合的な情報提供 ・公的な福祉サービスの量・質の確保 ・関係機関の活動をつなぐ連携の場づくり

第 4 期にっしん高齢者ゆめプラン（平成 21 年度～平成 23 年度）

重点項目	<p>○認知症を理解し支える地域づくり ○介護予防の充実 ○高齢者の集いの場の充実 ○地域の集いの場の充実</p>
施策の体系と方向	<p>○健康づくりと介護予防 ○施設サービスの充実 ○地域における生活の支援・日常生活圏域 ○安心して生活を送るために ○相談・情報提供 ○地域で福祉を進めるために ○いきいきと老後を暮らすために ○計画の推進のために</p>

第2次日進市障害者基本計画（平成21年度～平成30年度）

位置づけ	国の障害者基本計画及び愛知県の「21世紀あいち福祉ビジョン」とともに、障害者福祉を進めるための市の基本的な考え、施策を定めた計画
基本理念	地域で 共に暮らす まちづくり
基本目標	○地域で安心して暮らせるまちづくり ○共に学び、働き、活躍できるまちづくり ○支え合い、共に生きるまちづくり
基本施策	○スポーツ・文化活動の支援 ・スポーツ・文化施設などのバリアフリー化 ○障害に対する理解促進とまちづくりや市政への参加の保障 ・啓発・広報活動の推進（心のバリアフリー） ○福祉教育の推進 ○防災・防犯対策の推進 ・避難所におけるバリアフリーの確保 ○バリアフリーの推進 ・公共施設・民間建築物などのバリアフリー化の誘導 ・公共交通機関・道路交通環境の整備など ・情報のバリアフリー化の推進

第2期日進市障害福祉計画（平成21年度～平成23年度）

位置づけ	障害者基本計画の「生活支援」を中心とした施策の具体的な数値目標
基本理念	地域で 共に暮らす まちづくり
留意点	第1期計画の進捗状況等の分析・評価と課題の整理を行い、課題を踏まえた着実なサービス基盤整備に対する取り組みの推進を念頭に置きつつ、数値目標及びサービス見込み量を適切に設定する。

(2) 関連事業

米野木駅の北側において事業中である、日進米野木駅前特定土地区画整理事業の概要を以下に整理します。

日進米野木駅前特定土地区画整理事業

○施行期間

平成7年～平成23年度

○施行者の名称

日進米野木駅前特定土地区画整理組合

○設計方針

本地区の土地利用は、住居系の土地利用を基本とするが、米野木駅周辺及び幹線道路沿いは、地区発展の核となるよう商業系の土地利用を計画する。

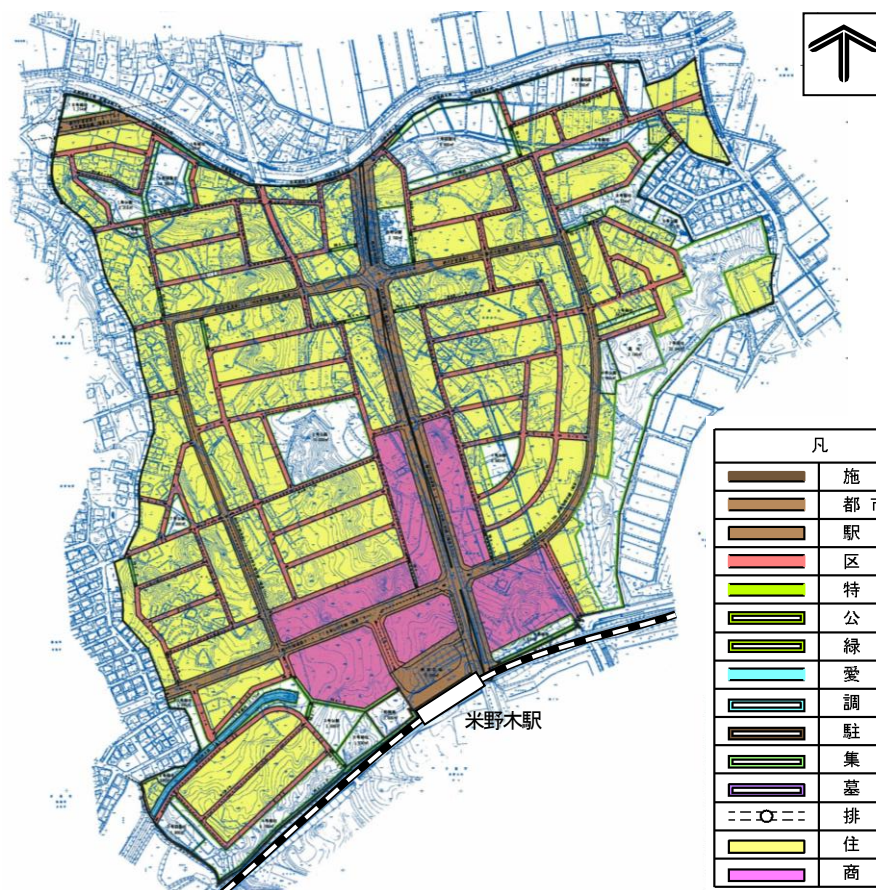
○人口計画

想定地区内人口 約4,172人

地区内人口密度 約77.3人/ha

○導入施設

住宅地の他、大型商業施設やサービス施設の立地を予定している。



■計画平面図（設計方針）

【参考資料：日進米野木駅前特定土地区画整理事業の進捗状況】

整地はほぼ全域にわたり進められていますが、県道岩作諸輪線以西のみにおいて市街化が進んでいる状況にあります。

